

人材紹介会社 同性だから安心!



①ヴェディオール・キャリアを訪ねて、転職先の仕事について話をする伊豆夏実さん（左）
②女性の転職支援について意見交換する女性キャリア・アドバイザーの専門グループ（東京・大手町のパソナキャレントで）

華麗に転身 女性の味方

カウンセリングで
納得の職探し

このため、昨秋に事務所を退職。昨年10月にヴェディオール・キャリアに登録し、同11月末に東京建物から就職の内定を得た。伊豆さんが、転職先を不動産業

後、女性の社会進出が日本より進む欧州で事業を展開するヴェディオール社本体との連携を強化し、女性の転職支援を一段と充実させていく方針だ。

同社では通常、転職希望者の志望に応じた、職種・業界ごとにキャリア・アドバイザーが転職先を探す形を取っている。専門グループは、コンピューター技術などの

専門職を除き、女性の転職支援を一括して引き受けるのが特徴で、女性アドバイザーが職種などにとらわれずに転職先を探す。グループが昨年7月に出来て以来、5か月で女性の登録者は15%増加したという。若松律子グループマネージャーは「同性の安心感から話しにくいことも正直に話してもらえ

ため、潜在的な志望も引き出せ、よりよい転職につなげられる」と強調する。

男性お断り

インターネット求人広告企業などを母体に設立した「なでしこキャリア」（同・内幸町）は昨年9月、一般職の女性層だけを対象とした転職支援サービスを始めた。年齢は20代半ばから30代、年収は300万円から500万円の層を中心に、総務や秘書、商品企画などの職種を紹介している。

橋本美樹社長は「人材紹介会社は男性の志望者が圧倒的に多く、敷居が高いという印象を持つ女性は少なくない。普通のOLの転職支援の受け皿を作らかった」と話す。現在、1か月で1000人超が同社の面接に訪れ、10人前後の転職が決まっているという。

課題

厚生労働省が昨年12月に発表した「2005年上半期雇用動向調査結果の概況」によると、2005年上半期（1～6月）に転職して正社員となった人は、男性104万人、女性57万人の計161万人。前年同期比増減率で見ると、女性は5・5%増と、男性の0・9%増を大きく上回った。少子化や、団塊世代の一斉退職などによって、女性の働く場は広がる方向にあるが、ヴェディオール・キャリアの大谷光彦社長は、今後の課題として「女性のキャリアを高める教育などを含めた幅広い支援が必要」と話している。